

自分の花を咲かせよう

第22号
令和2年1月27(月)
文責：森田美貴子

「つくる」～視野を広げ,未来につなげる～

1月23日(木)の総合学習で、修学旅行実行委員が考えたスローガンを発表しました。とても素敵なローガンの中には3つのねらいがありました。

- ① 修学旅行をつくる ② 学年をつくる ③ 自分の意思をつくる

実行委員は今回のプレゼンで3つのつくりたいものを明らかにし、将来も見据えています。修学旅行が「学び」の場であることを理解し、充実した時間にしたいと考え、連日その打ち合わせや作業に取り組んでいます。みんなのために頑張るのだという心意気を大変うれしく思っています。



👉学年としての土台作り👈

さて…先日、整列に関してできていることを伝えました。今回はさらにもう一度、第2学年として、附属中生としての土台を見直してほしいと思っています。

- ① 不要物なし・マナーやルールを守る生活をしよう！
② 友達を大切にしたい仲間づくりをしよう！

不要物の持ち込みへの意識改善と、JRなど公共マナーの改善が大きな課題です。学校生活を営む上でのルールと、社会で生活する一員としてのマナーを守ってほしいです。修学旅行でも同じことで、このルールを守るという土台があってこそ班別研修の実施が可能となるのです。また、もう一度クラスメイトとの言葉かけや友達、先輩後輩との会話を見直してください。安心して生活できる空間づくりはとても大切で、心ない言葉や態度で傷つけることがないよう、互いを尊重しあう仲間づくりを心掛けてください。互いを認め合い尊重しあう学校、学年ができてこそ、附属中学校でのより良い学びが保証されるのです。今一度初心に帰り、附属中生としてどうあるべきかを考える機会にしてほしいです。